

先生のための「夏休み経済教室」

JPX
マネ部!ラボ



JPXの最新の動きと 金融経済教育の取組み

Total smart exchange

株式会社東京証券取引所 金融リテラシーサポート部



2024年8月

1 JPXについてご紹介

2 JPXの最新の動き

(取引時間の延伸、市場区分見直し後のフォローアップ)

3 最近の金融経済教育の取組みについて

(金融経済教育推進機構、新教材について)

4 大学入試問題から

5 最近の株式市場の動き

6 ご参考

7 新教材のデモンストレーション

先生のための「夏休み経済教室」

1. JPXについてご紹介

株式会社日本取引所グループ (JPX) とは?

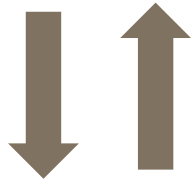
- JPXは、**東京証券取引所グループ**と**大阪証券取引所**が合併して、2013年1月に誕生
- 東京証券取引所では、1999年まで立会場が開設されており、証券会社の人々が立会場につめて、手サインを持って株式を売買していました（現在、売買は全てシステムで行われている）
- 現在は、東京証券取引所、大阪取引所、日本取引所自主規制法人、日本証券クリアリング機構、東京商品取引所などを運営



“日本経済の心臓”として、市場の多様性・安定性・信頼性を担保しています



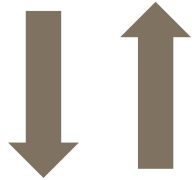
株式の発行
売り出し



資金調達



注文をマッチング
◎ 株式の価格発見



株式の売買



株式会社

◎ 事業資金の調達機会を提供

会社の所有権である「株式」を発行のうえ、投資家に売り出し、その資金を元に事業を行う

JPX

無数に存在する企業や投資家を結びつけるプラットフォームとして社会的意義の高い役割を担う

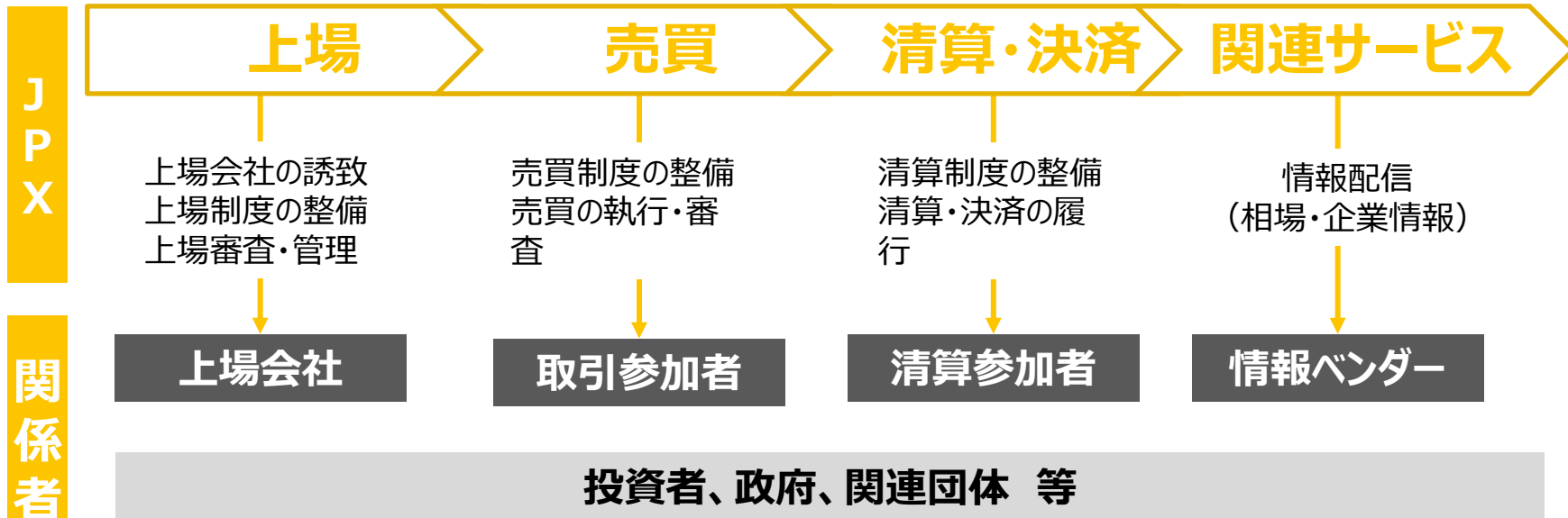
投資家

◎ 資産運用の機会を提供

「株式」の売買を通じて、利益を獲得する

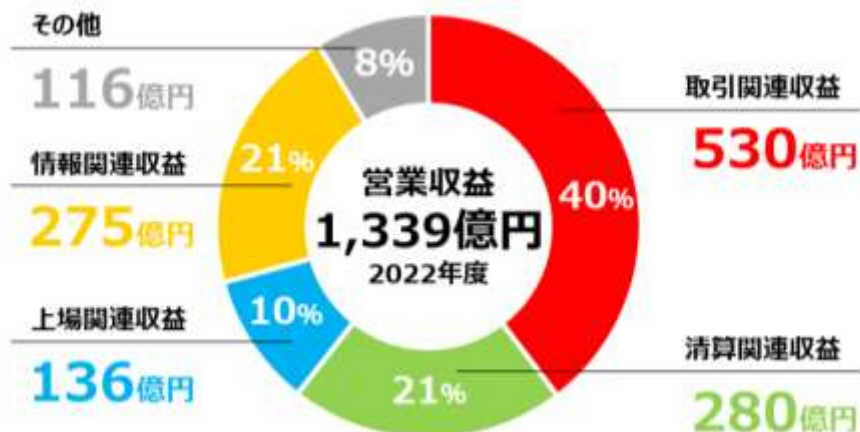


多様なステークホルダーと関わりながら、多岐にわたる事業を展開しています



【参考：営業収益の内訳】

サービスの対価として、
様々な市場利用者から
各種料金をいただいています



会社概要

社名	株式会社日本取引所グループ
所在地	東京都中央区日本橋兜町2-1
代表者	取締役 兼 代表執行役グループCEO 山道 裕己
設立	2013年1月1日（東証と大証が統合しJPXが誕生）
従業員数（連結）	1,224名（2023年3月末）
勤務地	国内：東京・大阪 海外：ニューヨーク・ロンドン・シンガポール・北京・香港等

グループ会社

東京証券取引所、大阪取引所、東京商品取引所、JPX総研、
日本取引所自主規制法人、日本証券クリアリング機構



日本取引所グループ



東京証券取引所



大阪取引所



東京商品取引所



JPX総研



日本取引所
自主規制法人



日本証券
クリアリング機構

2. JPXの最新の動き

①現物市場の機能強化に向けた取組み (取引時間の延伸等)

東京証券取引所は、市場を巡る環境変化や多様化する投資家のニーズに対応するとともに、市場利用者の利便性や国際競争力、レジリエンスをさらに高めていく観点から、2021年5月に「市場機能強化に向けた検討ワーキング・グループ」を設置し、そこでの議論を踏まえ、2021年10月、「現物市場の機能強化に向けたアクション・プログラム」を公表いたしました。

当取引所では、本アクション・プログラムに記載のとおり、現物市場の機能強化に向けた取組みとして、立会時間の30分延伸やクロージング・オークションの導入等を、現物売買システム (arrowhead) の更改にあわせて実施する予定です。

なお、本システム更改については、現在、2024年11月5日 (予定) の実施に向けて準備を進めております。

(参考) 延伸後の取引時間のイメージ

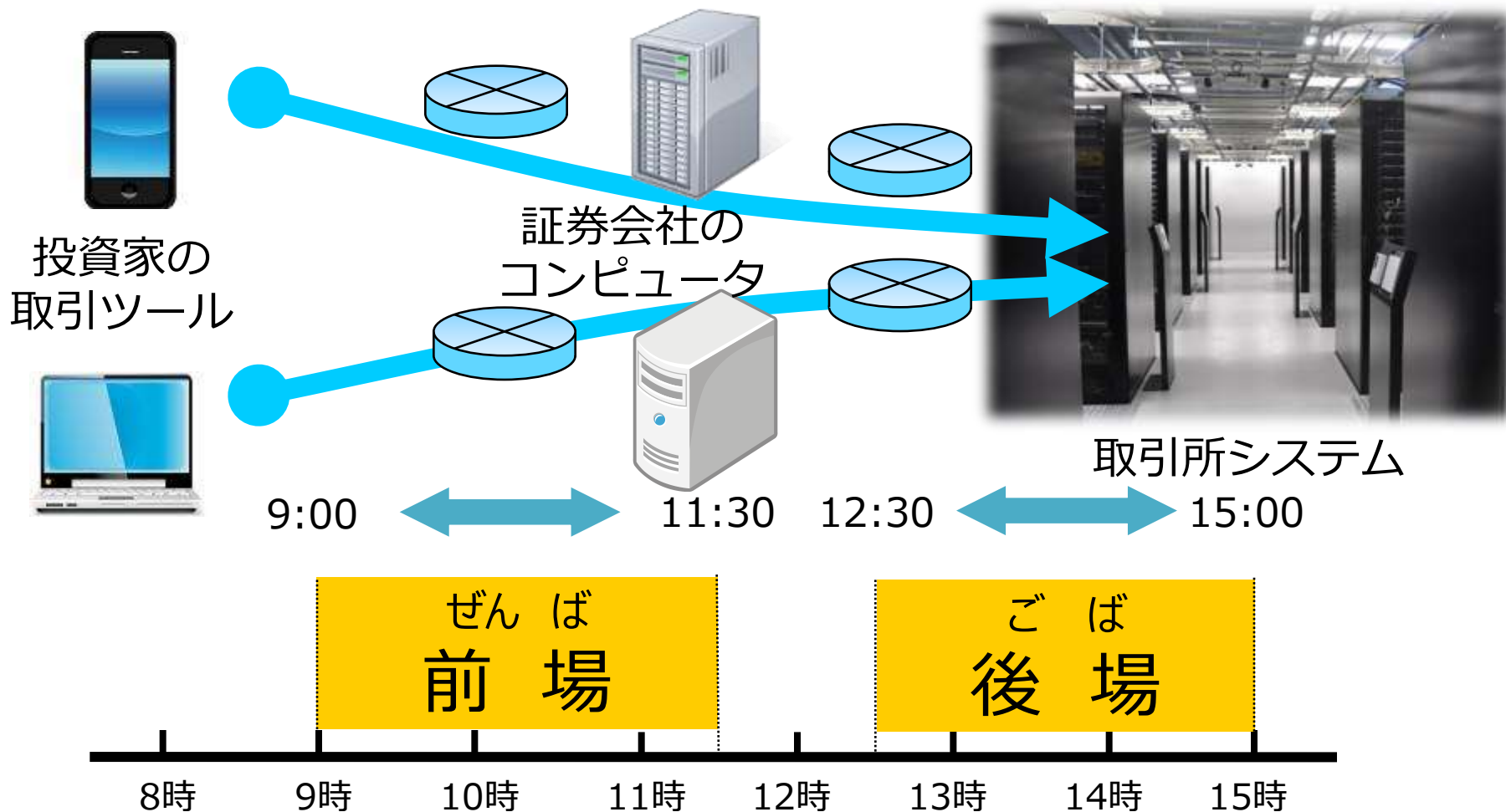
現物市場

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
arrowhead (立会内)		9:00~11:30				12:30~15:30※		※ 15:25~15:30H クロージング・オークション			

(日本取引所グループホームページより)

(参考) 株式の取引時間

➤ 取引時間は前場・後場にわかれている。



※東京証券取引所の株式取引時間

②市場区分見直し後のフォローアップについて

- ◆ これまで、本フォローアップ会議では、市場区分見直しの実効性向上に向けた各種施策について議論・検討を行い、東証においてそれらを実施してきた
 - 上場維持基準に関する経過措置の終了時期を明確化、スタンダード市場再選択の機会を提供
 - 企業の中長期的な企業価値向上に向けた取組みや投資者との対話を促す方策として、資本コストや株価を意識した経営の推進、プライム市場における英文開示義務化の決定など
 - グロース市場の機能発揮に向けた方策の検討
- ◆ 2024年4月で市場区分見直しから2年が経過したが、市場区分見直しの実効性向上に向けては、上場会社の「実質的な変化」を目指し、継続性を持って取組みを推進していくことが重要
- ◆ そこで、本日は、市場区分見直し後のこれまで/現在の状況について振り返り、現状の評価や今後のフォローアップについてご議論いただきたい

(参考) 新市場区分の概要

上場会社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上を支え、国内外の多様な投資者から高い支持を得られる魅力的な現物市場を提供することを目的として、クリアなコンセプトを持つ3つの市場区分を設置



プライム市場

高い流動性とガバナンス水準を備え、グローバルな投資家との建設的な対話を中心に据えた企業向けの市場

スタンダード市場

公開された市場における投資対象として十分な流動性とガバナンス水準を備えた企業向けの市場

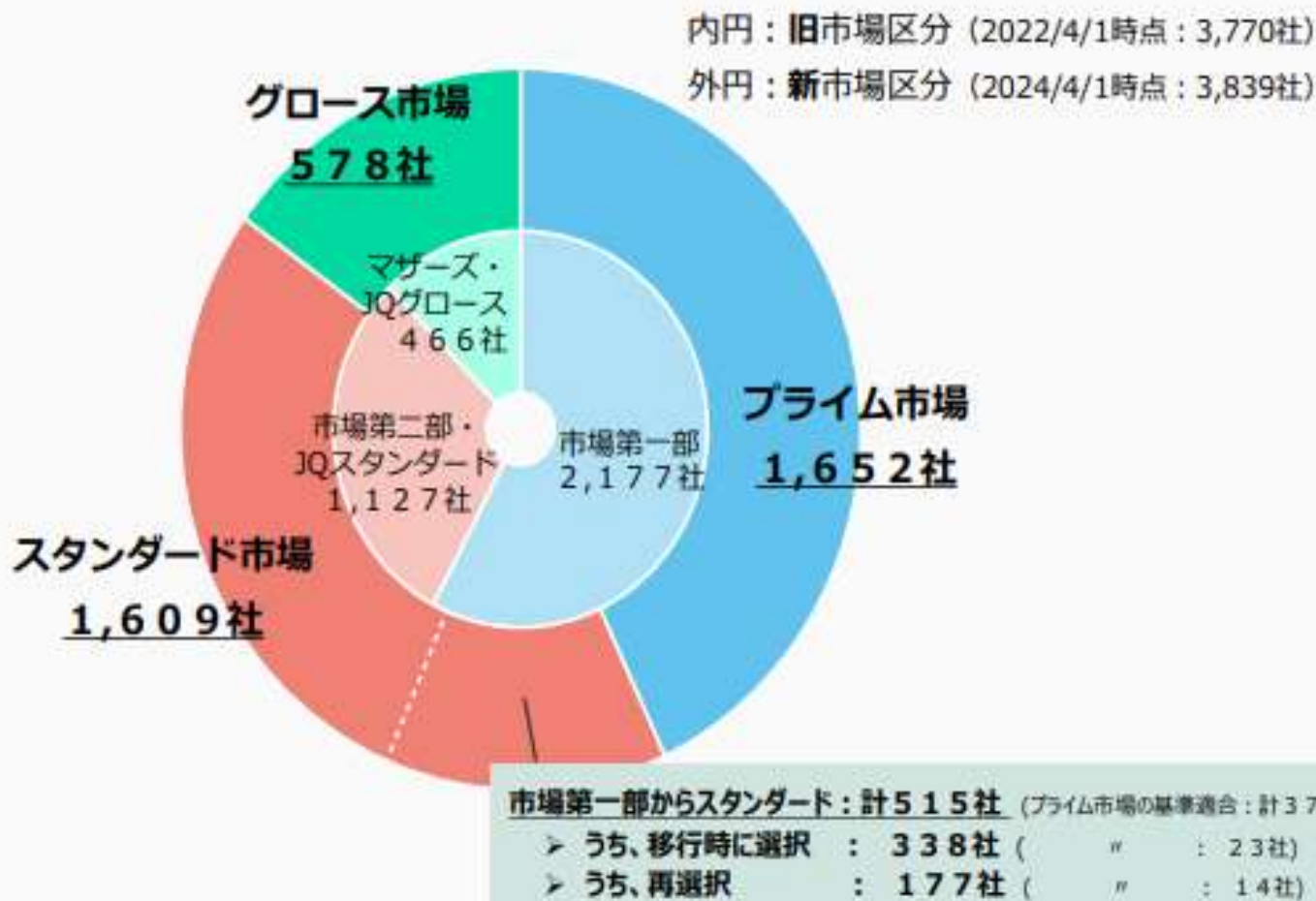
グロース市場

高い成長可能性を有する企業向けの市場

(日本取引所グループホームページより)

(参考) 市場区分ごとの上場会社数

- ◆ 再選択期間中(2023年4~9月)に**177社**が**スタンダード市場を再選択**(2023年10月に移行)
 - 旧市場第一部からスタンダード市場に移行した会社は計**515社**(旧市場第一部上場会社の24%)



(日本取引所グループホームページより)

3. 金融経済教育の取り組みについて

JPXマネ部！ラボの概要

活動の認知度向上や効率的な展開を図る目的で、JPX金融経済教育全体を表すブランド「JPXマネ部!ラボ」を2022年に設置。

各プログラムを体系的に整理し、取引所の特性・強みを活かしながら、実効性ある活動を追求している。



社会人向け
セミナー

セミナーマネ部！

- ・幅広い世代に対して様々なテーマのセミナーを展開
- ・動画視聴数 **約44万人 (約90回)**
- ・対面セミナー・イベント **約8,800人 (約40回)**

資産形成
解説ウェブ

東証マネ部！

- ・2016年12月にサービス開始したJPXのオウンドメディア
- ・月間**約155万PV**

職域研修

研修マネ部！

- ・2017年8月に開始した講師派遣サービス
- ・受講者 **約6,000人 (約130回)**

小中高生

スクールマネ部！

- ・児童・生徒のみなさん、先生方へ多様なコンテンツを提供
- ・小中高向け授業 **約6,400人 (67回)**
- ・親子経済教室 **約1,130人 (32回)**
- ・教員向け授業 **約660人 (11回)**

大学生

キャンパスマネ部！

- ・大学生・大学院生に対して、講義の提供やイベントを実施
- ・受講者 **約5,000人 (約100回)**

見学

東証Arrows/大阪取引所

- ・自由見学のほか、案内付き見学ツアーを実施
- ・東証・大阪取引所見学案内 **約33,000人**

(「JPXマネ部！ラボ」レポート2024より)

「スクールマネ部！」（小中高高校生向け）の概要

概要

- 学習指導要領が改訂され、家庭科の授業で金融経済教育の資産形成に関する内容が拡充される中、JPXも学生向けの各種の取組みを強化中
- 児童・生徒の皆様、そして先生方へ多様なコンテンツを提供



特徴

授業支援・受入講義、
起業体験プログラム

学校からの要請に基づき、JPXの社員を講師として派遣。東証Arrows、OSEギャラリー案内とセットで講義も実施。

セミナー・イベント

春休み、夏休み、冬休みの期間に、親子向けのイベントや教員向けセミナーを実施。

ウェブサイト、
教材制作・提供等

金融・投資に関するウェブサイトでの情報発信や、教材の制作・提供も行う。

（「JPXマネ部！ラボ」レポート2024より）

証券知識普及プロジェクトコンテンツ等の今後の取り扱い

	コンテンツ	これまで	2024年8月以降
教材	ミスターX	証券知識普及プロジェクトにて提供	金融経済教育推進機構にて提供
〃	金融クエスト	〃	〃
〃	株式学習ゲーム	日本証券業協会及び東京証券取引所にて提供	〃
情報誌	レインボーニュース	2024年6月に最終号を作成	最終号のみ金融経済教育推進機構HPにて掲載
WEB	金融経済ナビ	証券知識普及プロジェクトにて提供	金融経済教育推進機構HPにて一部掲載
〃	明快◎けいざいニュース	2024年5月号で終了	最終号のみ金融経済教育推進機構HPにて掲載

18歳からはじめる NISA



Contents

はじめに 投資は怖い？

WORK 01 家計を見て、投資金額を考えよう

WORK 02 4つの投資信託から1つ選ぼう

WORK 03 口座をつくって、商品を購入しよう

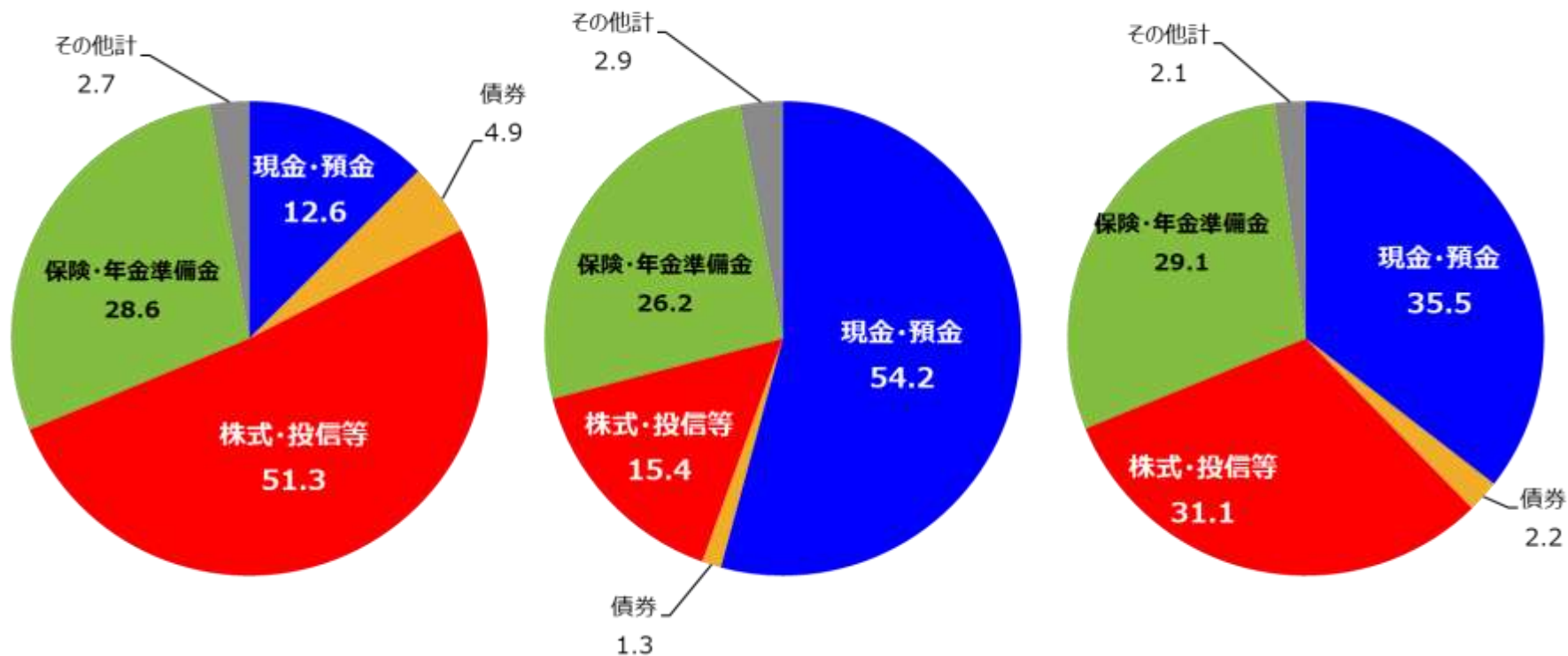
WORK 04 投資結果 ～4つのミライを覗いてみよう～

WORK 05 運用状況をチェックしてメンテナンスしよう

おわりに 学習のまとめ

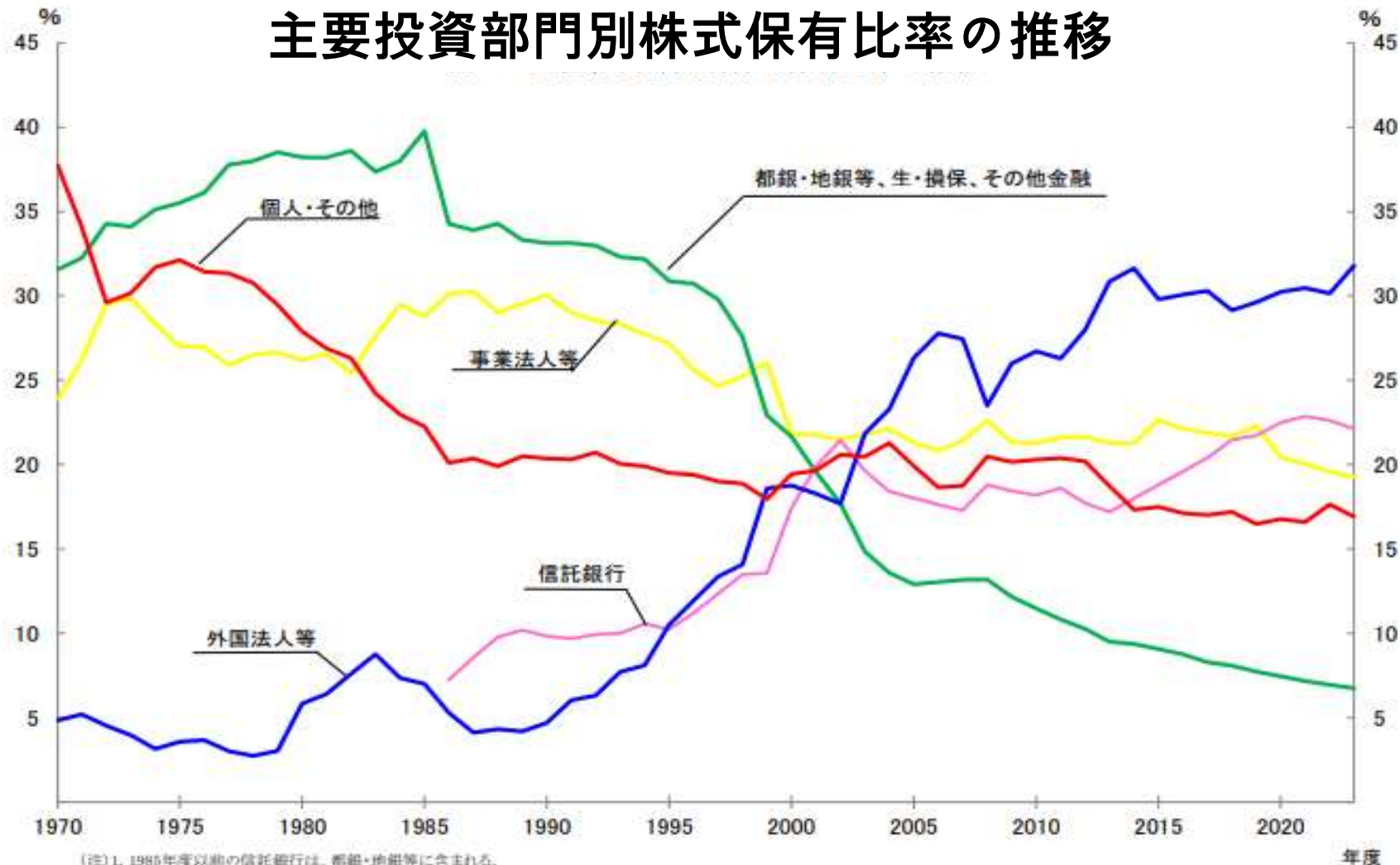
4. 大学入試問題から

①個人金融資産の保有状況（米国、日本、欧州）



(出所)「資金循環の日米欧比較」(日本銀行:2023年8月25日)

②日本の株式市場の株主分布について



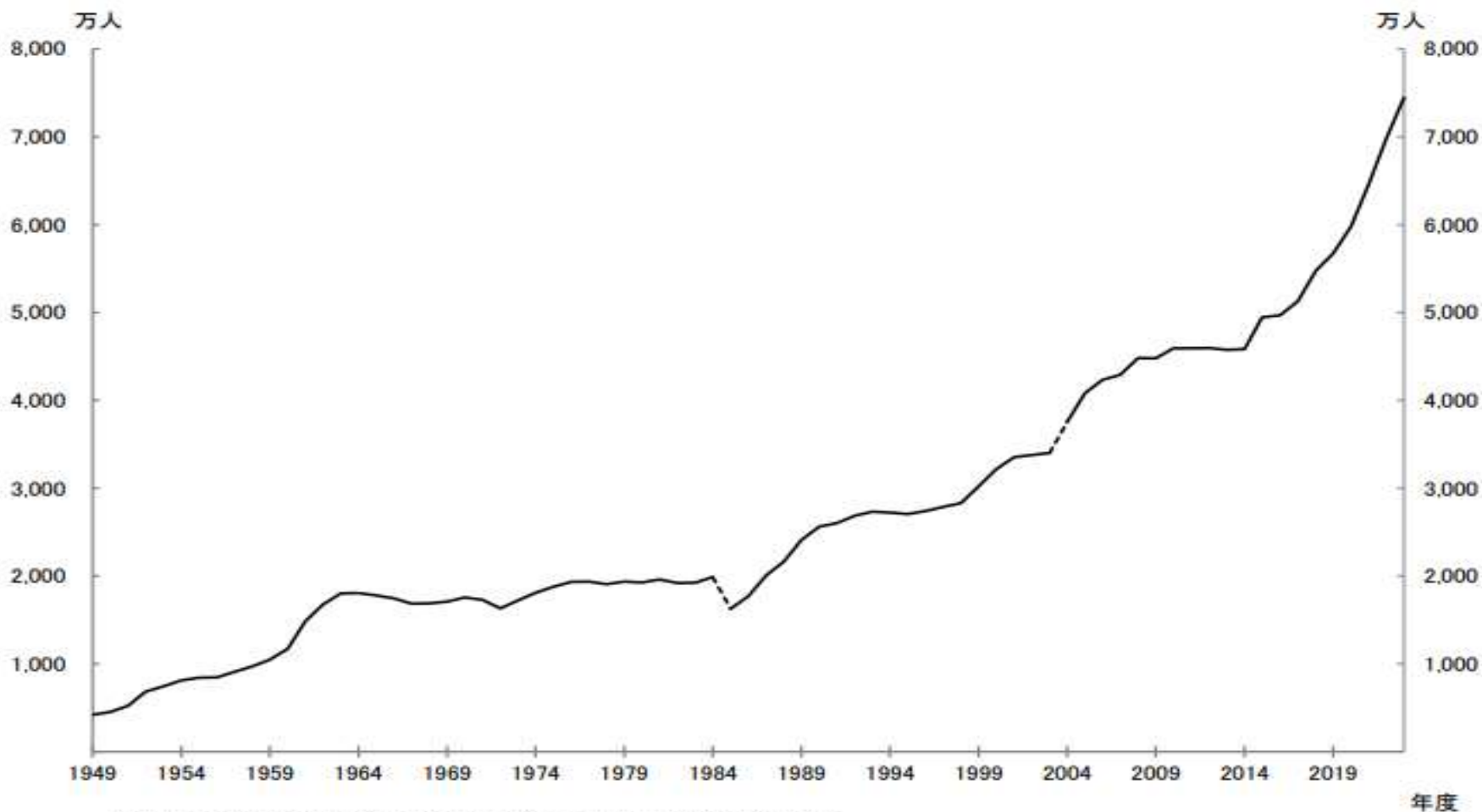
(日本取引所グループホームページ「2023年度株式
分布状況調査の調査結果について」より)

(参考) 2023年度の株価の推移



(日本取引所グループホームページ「2023年度株式
分布状況調査の調査結果について」より)

③-1 個人株主数（延べ人数）の推移

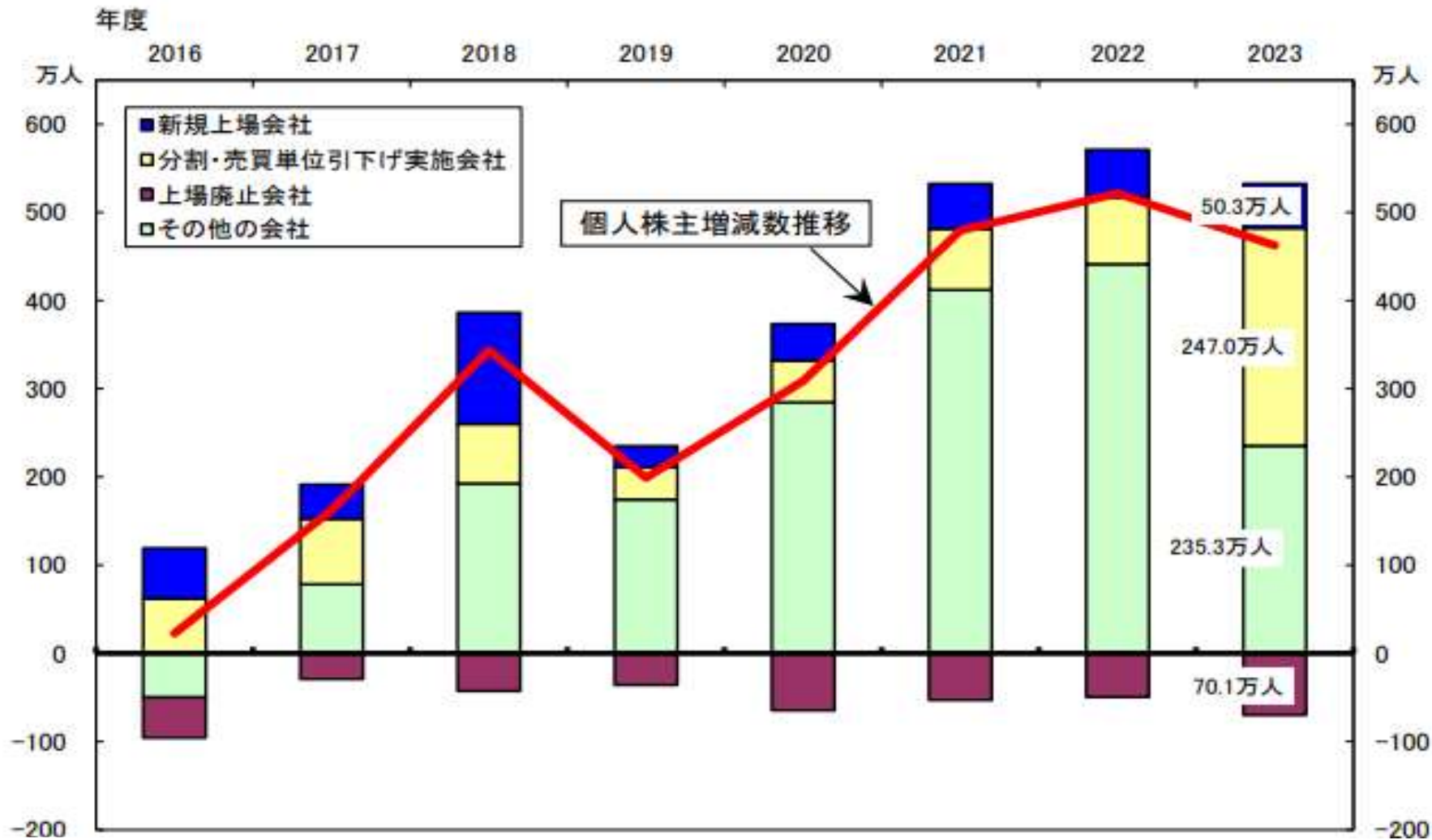


(注) 1. 1985年度以降は単位（現在は単元）数ベース。（変更前後は点線とした）

2. 2004年度～2021年度まではJASDAQ上場銘柄を含む。2022年度以降は、その時点の上場銘柄を対象。（JASDAQ追加前後は点線とした）

（日本取引所グループホームページ「2023年度株式分布状況調査の調査結果について」より）

③-2 個人株主数（延べ人数）増減の要因分析



(日本取引所グループホームページ「2023年度株式分布状況調査の調査結果について」より)

④-1 海外取引所とのデータ比較（2024年5月末時点）

上場株式時価総額

順位	取引所	兆ドル
1	NYSE	27.65
2	Nasdaq - US	25.97
3	Euronext	7.00
4	上海証券取引所	6.63
5	JPX	6.32
6	NSEインド	4.90
7	HKEX	4.21
8	深セン証券取引所	4.21
9	LSEグループ	3.38
10	TMXグループ	3.23

株式売買代金（日次平均）

順位	取引所	億ドル
1	NYSE	1,148
2	Nasdaq - US	1,091
3	CBOE Global	726
4	深セン証券取引所	653
5	上海証券取引所	513
6	JPX	306
7	KRX	150
8	HKEX	137
9	NSEインド	133
10	台湾証券取引所	133

（出所）WFE

④ - 2 海外取引所とのデータ比較（2024年5月末時点）

上場会社数

順位	取引所	社
1	BSE	5,652
2	JPX	3,937
3	TMXグループ	3,571
4	Nasdaq - US	3,356
5	深セン証券取引所	2,853
6	HKEX	2,610
7	KRX	2,578
8	NSEインド	2,482
9	上海証券取引所	2,273
10	NYSE	2,242

（出所）WFE

IPO件数（年初から5月）

順位	取引所	件
1	NSEインド	96
2	Nasdaq - US	42
3	NYSE	29
4	JPX	26
5	IDX	24
6	KRX	22
7	HKEX	21
8	マレーシア証券取引所	19
9	イスタンブール証券取引所	17
10	深セン証券取引所	15

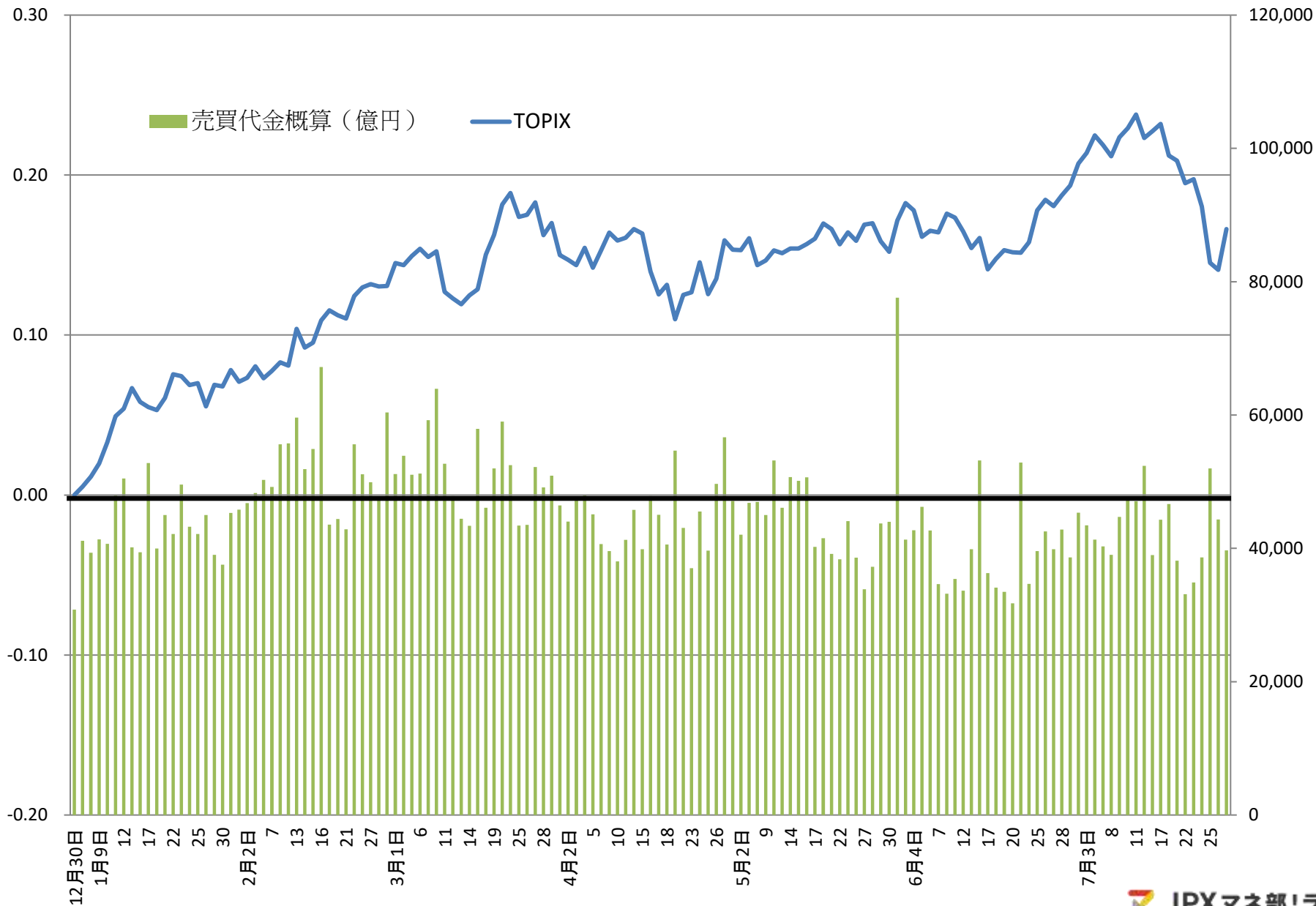
5. 最近の株式市場の動き

株式市場の動き

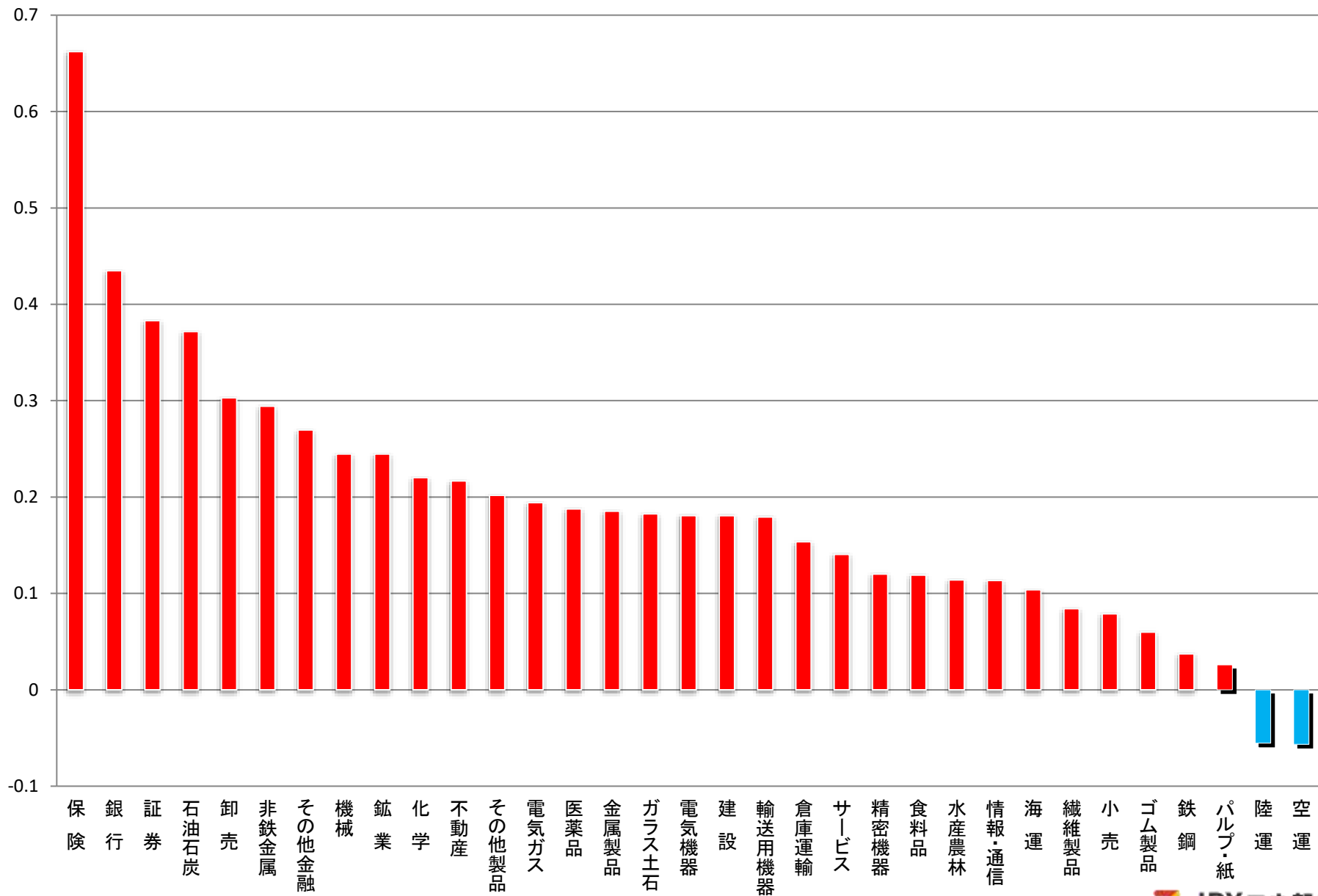
ニュースなどで「本日の日経平均株価の終値は・・・、TOPIXの終値は・・・」というのをよく耳にしませんか。



東京市場の株価と売買代金（2024年）



東証業種別年間騰落率 (2024年) (7月23日時点)



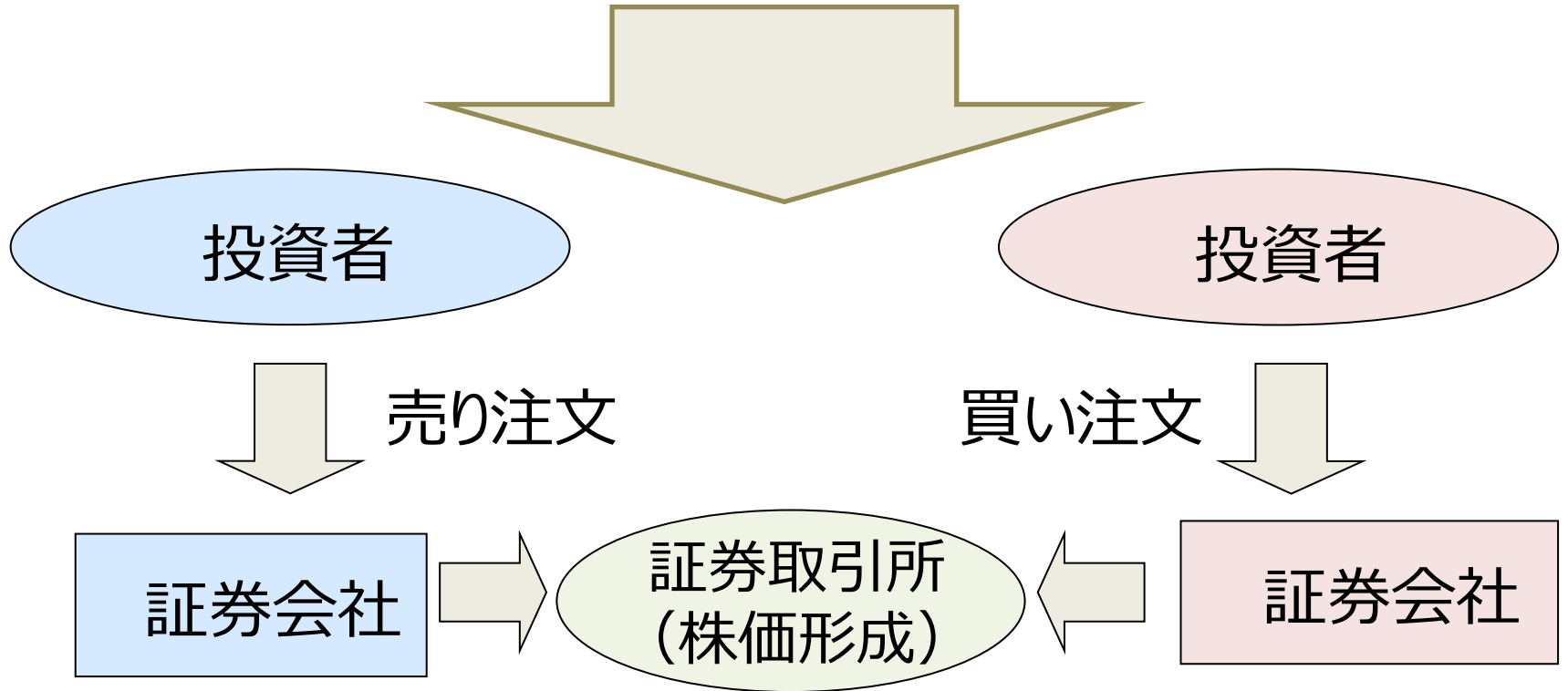
株価変動の要因

【マクロ環境】

- 国内外の景気 ○為替 ○政治情勢・政策
- 外人投資家の動向 等

【会社情報】

- 個別企業の情報
- 個別企業の決算・将来性



2つの大きな要因により、個別企業の具体的な株価を形成

6.ご参考



経済の入口をのぞいてみよう。

- 経済を身近に感じられる。
- 社会の動きが分かる。
- ワクワクする驚きと発見。
- そんな世界を探検してみよう。



日本取引所グループでは、皆さまのニーズに合ったお金に関する情報をお届けするために、様々な切り口の検索機能を取り入れたポータルサイトをオープンしています！

投資未経験の方でも安心してご利用いただけるよう、公正・中立な立場から、情報を発信しています。ぜひ一度ご覧ください！



ポータルサイトに
今すぐアクセス！！

左のQRコードを読み取るか、下記のURLを入力してサイトにアクセスしてください。

～サイトの特徴～

人気タグから検索可能

気になるキーワードから探せる！



講師派遣申込可能

学生から社会人まで各世代の方に
無料の講師派遣サービスを実施！



<https://www.jpx.co.jp/jpx-manebulab/>



絵で見る解説 **動画解説** **記事**

Three educational cards are displayed. The first card, titled 'ETFって何？', explains that an ETF (Exchange Traded Fund) is a type of '上場 投資信託' (listed investment trust) and compares it to 'A+ 上場' and 'A- 上場'. The second card, titled 'ETFの仕組み', shows a flow from '投資目的' to 'ETF' and '株式', and includes a diagram of '積立拠出年金' (accumulation contribution pension) with '厚生年金' (social security pension) and '60歳未満' (under 60 years old). The third card, titled '長期投資のメリット', features a photo of a man pointing at a whiteboard and discusses the benefits of long-term investment.

アクセス方法

Google等の検索サイトから、「マネ部」と検索してアクセスいただくか、以下のQRコードを読み込んでください。



<https://money-bu-jpx.com>

7.新教材のデモンストレーション

<ご注意事項>

- ◆ 本資料及び講義は、情報提供のみを目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなされるようお願いいたします。
- ◆ 本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の完全性を保証しているものではありません。また、本資料は、平易に解説・記述することを目的としているため、必ずしも網羅的なものではなく、将来予告なしに内容が変更される可能性があります。過去の情報は実績であり、将来の成果を予想するものではありません。
- ◆ 本資料及び講義のいかなる部分も一切の権利は、株式会社東京証券取引所に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ複製または転載等はできません。